

◆ 一般投稿作品 ◆

萩そよぐ裏庭ババは杖にぎり若気少々吹かそかなもし
袖とおすことなく干さるるお神幸の裳裾をゆらす風もさみしき
ひもとけば去年の秋にぞ見初めたる紅葉一葉のかすかに匂ふ
コロナ禍の五分の見舞い窓越しに「痛くないかね」危篤の人に
濁流と土石豹変する山河に浮かぶ川のせせらぎ
足腰はべたりと土に息継ぐも野芥子の茎は手鋏に断てぬ
雨を待つ早の野良に雨音が近づきうれし真夏日の午後
ラジオから「神田川」の歌流れくる亡き妻偲ぶ日曜の朝
さそわれて出でし秋の野古里の丘も一ぱい花咲くたろう
雨多くクズのかずらは伸びゆきて手練り手練れば片手に重く
秋風にゆれる稲穂のかたわらにコスモス見事に咲き初めたり
寝すぎしを心に詫びつつ老い夫のむつき替ふれば涙出できぬ
ありったけの力を込めて若きらの打つ球びびく甲子園の空
白馬大池に下る坂道カラカラとカップがゆれた二人の背に
元氣出せ夏に敗けるな我を見よ燃ゆるがごとく唐桐の花
オカリナの音色にのりてうきうきとカッターにぎり折り紙建築
牟寿きて一人居なればつらきこと多くあれども頑張りている
まだまだと思えばできるデイケアの友がお手本百歳体操
寿命とて抜かれたる歯のしみじみと白し仄かに血の香まとへる
台風十四号ハウスの破損想定外繕ひするも一人は弱し
あれもこれも届けやりたし息に送る新米の他を入れたり出したり

西野地 薫
中村 定子
山崎 貴子
伊藤 清子
森本 幸美
大岸由起子
原 茂
山中 逸朗
岡本 初美
小松 敏子
五百蔵利美
小原 子川
公文 千恵
吉本 悦子
大石 綏子
小松 禮子
門田 明子
松中 賀代
竹村 咲子
武内 弘子
公文 正子

◆ 高知アララギ短歌会 ◆

父逝きし年齢になりたるこの頃は身の締めりつつ力湧くとも
塩枯れし竹林に動く光みつつこの感傷は遠き日に似る
帰省せし子に懇切に教へらるる災害伝言ダイヤルのこと
臥すわれはすべての部屋の窓をあけ吹き抜ける風心地よく受く
大学生小学生の声交じる午後の旧道はつなつの風
白寿荘にひと月ひと日の美容院窓辺にそよぐ桂の若葉
久しぶりの父との再会戸惑ってシルバーカーを必死で握る
克蘭ベリー生実ジュース試食せり赤い峪ツアラスベガスの旅

古川 安子
小松もとみ
佐竹 玲子
古谷 由美
佐々木真里
小松 信子
岩井美知子
宮地 亀好

◆ 「涛光」グループ ◆

あわたたしき市への荷作り毎朝の勤めし頃の甦りたり
尾戸焼の茶入を見入る知己の頬赤く染まりて恋することし
難しいズッキーニの二度収穫に成功父の努力見直す
帰省客皿鉢料理にカツオのたたき満面笑みで土佐を満喫
前走る車「はあばが運転中」リアウィンドウにシールを貼って
病院で出会った方は九十歳毎週いくつの市に立てると
冬日和氏神様へお礼参り脳裏よぎりし不安も去りて
今日もまた日の出とともに農作業元気にできる体に感謝
雨上がり丸まる太ったオクラたちと天向き朝日に光る

尾立ひとみ
小松 美鶴
吉川 恵樹
刘谷美代子
秋 星
野村 典子
寺内 啓子
溝渕 龍泉
中村 佐代

俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載を希望される方は、掲載月の前月1日までに、ご応募ください。
【投稿先】香美市役所総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782-8501（住所記載不要） 53-5958

第16回香美・香南地区短詩型文学振興大会

短歌の部

特選 どの地にも花咲き鳥は鳴き始む
空爆に耐ふる人らを思ふ
古川 安子
優秀 人を恋う葛は民家に迫り来る
既に物影無きあばら家に
森本 幸美
優秀 子らに乗せりヤカーを引く母の背に
滴る汗よ八才の夏
吉本 悦子
佳作 咲き継ぎし妻の植たるガーベラに
今日も声かけ出掛けておりぬ
宮地 亀好
佳作 足腰は老化免れ朝夕に
鼻うたまじりの土弄りせん
梅原 姻水
佳作 身の置き処なきほど暑き真昼間の
炎天を撫草刈りの音
黒瀬 和紀
佳作 遥かなる祖父の杉山陰深く
風の運べるうぐひすのこゑ
山下由美子
高賞 入院し和気あいあいと語り合う
それぞれの人生今日も生きると
岩井美知子

俳句の部

特選 翠微負ふ山女捌くや女の手
佐竹 洋子
優秀 手火花や女はかがむこと多し
森本 之子
優秀 遠雷のやうに母者の白の音
明石 菰生
佳作 土踏まずひらりひらりとハンモック
尾崎 鈴子
佳作 児の熟寝真桑ずむむ太りおり
影山 公子
佳作 青嵐牛舎忙しき朝の音
宮尾 祐幸
佳作 雷雲の迫る早明浦旧庁舎
野村 里史
高賞 雲の峰カラんとオンザロックかな

香美市民憲章 平成24年4月1日制定

前文 私たちの香美市は、美しく、豊かな自然に育まれています。先人が築き上げた尊い文化や伝統を受け継ぎ、人々が愛と勇気を心に持ち、誰もが幸せを感じられるまちを目指し、ここに市民憲章を定めます。

本文 1、豊かな自然を守り、美しいふるさとを未来に届けましょう。
1、互いに思いやり、ささえあう、心安らぐまちにしましょう。
1、歴史に学び、伝統を守り、高め、文化の香りあふれるまちにしましょう。
1、子どもたちの笑い声は宝物、みんなで見守り育てましょう。
1、感謝の気持ちを大切に、元気で働き、仲よく住みよいまちにしましょう。

